

令和4年度 入退院支援事業  
第1回多職種協働研修  
～事例を用いたグループワーク～

【テーマ】

～山田さんの入院早期における  
「退院に向けての課題」を多職種で考える～



# グループメンバーへの自己紹介

5分

## ★リモート参加の方★

- ①ブレイクアウトルームへの入出方法の確認
- ②グループメンバー同士の音声確認
- ③メンバー自己紹介  
所属・職種・氏名をお願い致します
- ④【司会】【書記兼発表者】【タイムキーパー】の決定  
リモート側は、書記と発表者を兼務し、適宜交代



## ★会場参加の方★

- ①名札シールを他のメンバーに見える位置に貼ってください。
- ②メンバー自己紹介  
所属・職種・氏名をお願い致します
- ④【司会】【書記】【発表者】【タイムキーパー】の決定



# これからのワークの概要

1、山田花子さんの事例紹介

2、山田さんの退院にむけての課題を抽出

自職種の専門性から、現時点（入院6日目）で考えられる課題を抽出してください。

① 個人ワーク (10分)

② 地域・病院・多職種での課題共有 (20分)

3、発表、全体で共有 (10分)

4、総括 (5分)

①個人  
ワーク

②グループ  
ワーク

③発表  
全体で**共有**

④総括

# 入退院支援事業 グループワークのグラウンドルール

- 参加することを意識してください
- あなたの考えを あなたの言葉で伝えてください
- 他の人の意見を否定しないでください  
(たとえばあなたの意見と違う意見であってもまずは聞いてください)
- そして…他の人の意見をよく聴いて下さい
- グループで協力して意見をまとめてください
- テーブルの物品は自由にお使い下さい  
(付箋にマジックを使うと発表者が見やすいです)
- メンバーに名札が見えるようにしてください

# 事例紹介

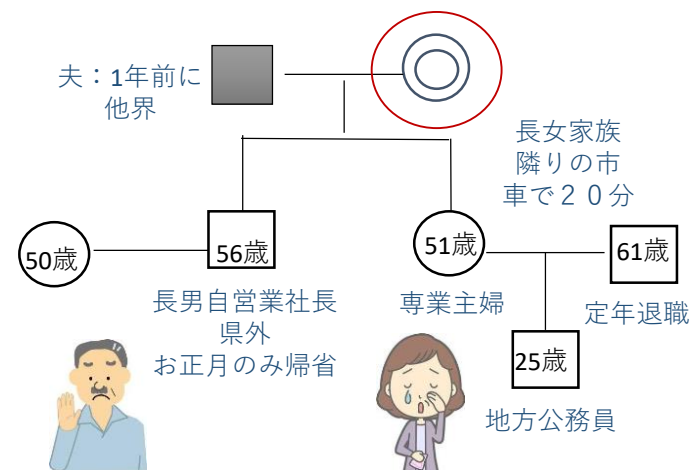
山田さん 79歳 女性 (1人暮らし)

## 《入院に至った経過》

商店街に自転車で買い物に行き、帰宅途中にバランスを崩し転倒。民生委員の小松さんが発見し、永国寺病院へ救急搬送となる。

## 《既往歴》

- 35歳の時、胃潰瘍にて開腹手術歴あり
- 75歳の時（約4年前）、あらまき病院で骨粗鬆症の治療中
- 3年前に畑仕事中に熱中症で倒れ救急搬送の経験あり
- 最近、膝や腰が痛いとよく言う



## 《入院時のデータ》

身長153cm、体重41.5kg、体温36.9℃、脈拍80回、血圧110/56mmHg

### ■入院時の血液検査

総蛋白TP 5.4g/dl、アルブミンALB 2.9g/dl、  
尿素窒素BUN15mg/dl、クレアチンCre1.1mg/dl、  
空腹時血糖FBS 82mg/dl、ヘモグロビンHb10.7g/dl、  
血小板25万/ul、

■尿検査⇒比重1.32、Ph6.7、

■骨密度⇒YAM：腰椎（59%）、左大腿骨頸部（62%）



## 《入院中に本人より得た情報》

近所のあらまき病院に、3か月に1度受診し処方あり

(お薬手帳より)

- 1、ボナロン錠（35mg）・・・1錠（アレンドロン酸ナトリウム錠）  
週1回（月曜日）起床時 12日分
- 2、ツムラ抑肝散（2.5g）・・・1日3回 毎食前 84日分
- 3、プルセニド錠（12mg）・・・2錠（センノシド錠）寝る前 84日分

## ◀入院後の経過▶

永国寺病院入院後、精査にて以下診断あり。

- 1、左大腿骨転子部骨折
- 2、前額裂傷



入院翌日に手術が行われた。

麻酔覚醒後「ここはどこおー？」「誰かあ！助けてー！」と大声で叫んだり点滴のチューブを引っ張る行為が見られ、一時的に腕の抑制と鎮静剤を使用した。

その様子を見た長女は「お母さんが認知症になってしまった。もう自宅には帰れない。」と泣いていた。



# 《入院6日目の現在》



## —入院カルテより情報を抜粋—

- 元気がなく食事・水分摂取量が少ない。体調を聞いても「大丈夫です」と口数少ない。
- 永国寺病院のパス通り、手術翌日よりリハ開始。
- リハ室には車いす介助で行き、現在は立位・歩行器歩行を練習中。訓練に消極的では表情は硬い。
- 長女が面会に来た時は笑顔で「私は大丈夫、大丈夫」と明るく振舞っている。
- 創部に異常はなく2日後に抜糸予定



## 《入院中に本人より得た情報》



### ■入院前の生活について

- ：夫の他界後、1人暮らし（夫は会社勤めの傍ら山田さんと一緒に米・野菜作りをしていた）現在、自宅敷地内で野菜を栽培し近所に配ったり良心市で販売
- ：日常生活で必要なものは近所に自転車で買い物に行く
- ：長女が、週に1度訪問し差入れ・掃除をしてくれる
- ：近所には元婦人会の友人がおり、茶道教室で集まるのが楽しみ

### ■薬について

近所のあらまき病院の受診も自転車で行く（1回/3か月）

本人より「骨の薬は起きてすぐ飲んで下さいと言われたけど、朝起きたらすぐ畑に行くがよ。ついつい薬の事を忘れてしまう。思い出した時には、朝ごはんの後に飲む」「便秘の薬は私には合わんみたいな」と話す。



## 《山田さんの思い》

「今まで、誰にも迷惑をかけんと生活してきた。こんなになって情けない。もう畑仕事は出来んろうか？他人に迷惑かける身体になったら施設に入らなあかんろうか？この先、私はどうなるが？子供たちに迷惑だけは、かけとおない。」

## 《家族の思い》

### 長女：

「いつも元気な母が介護されているのを見てショックで可哀そう。本人は大丈夫とは言ってるが不安だと思います。看護師さんに、母の入院前の生活について聞かれた時、曖昧な部分が多く本人任せだったなと反省しています。実家に薬を取りに行ったら、薬を入れている袋の中が散乱していました。ちゃんと飲んでいると思ってたのに。」

### 長男：

「母はもう歳やき、買い物くらい妹に任せておけばええ。ちょっと前にも暑い日に畑仕事しよって熱中症で運ばれたし。これからは、うろろせんと家で、じっとしちよって欲しい。」



## ①個人ワーク用紙

あなたの職種が考える

「山田さんの退院にむけての課題」

個人ワークにて考えた「山田さんの退院にむけての課題」を多職種チームで共有

★各専門職が考える「退院に向けての課題」を  
発表できるようにまとめてください。

## 2、発表 共有

10分

★各専門職が考える「退院に向けての課題」